

平成29年度全国学力・学習状況調査結果(概要版)

平成29年8月28日
福島県教育委員会

調査に関する概要

実施日	平成29年4月18日(火)	
実施校数	小学校 437校(15,101人)	中学校 221校(16,157人)
調査学年	小学校6年生	中学校3年生
調査教科	小学校 国語、算数	中学校 国語、数学

※ 特別支援学校(小学部)及び特別支援学校(中学部)を含む。

教科に関する調査の結果

教科に関する調査の結果の総括(公立)

- 本年度調査結果について、本県(公立)の平均正答率を、校種・教科・問題種類別に全国平均正答率を基準として見ると、小学校国語A、算数Aはやや上回り、小学校国語B、算数B、中学校国語A、Bはおおむね同じ、中学校数学A、Bはやや下回った。
- 中学校数学と活用問題が本県の課題である。
- 全国平均正答率を100として本年度の調査結果を昨年度と比較すると、小学校国語A、B、中学校の国語A、B、小学校算数A、B、中学校数学A、Bのすべてにおいて改善傾向が見られた。

小学校 国語

- 国語Aの平均正答率は76.1%(全国74.8%)、国語Bの平均正答率は57.0%(全国57.5%)であり、国語Aについては全国平均をやや上回り、国語Bについてはおおむね全国平均である。

■ 国語A(主として「知識」に関する問題)

	児童数	学校数	平均正答率(%)
福島県	15,101	437	76.1
全国	999,683	19,456	74.8

■ 国語B(主として「活用」に関する問題)

	児童数	学校数	平均正答率(%)
福島県	15,100	437	57.0
全国	999,498	19,456	57.5

小学校 算数

- 算数Aの平均正答率は80.5%（全国78.6%）、算数Bの平均正答率は45.1%（全国45.9%）であり、算数Aについては全国平均をやや上回っており、算数Bについてはおおむね全国平均である。

■ 算数A(主として「知識」に関する問題)

	児童数	学校数	平均正答率(%)
福島県	15,101	437	80.5
全 国	999,723	19,455	78.6

■ 算数B(主として「活用」に関する問題)

	児童数	学校数	平均正答率(%)
福島県	15,100	437	45.1
全 国	999,451	19,449	45.9

中学校 国語

- 国語Aの平均正答率は77.6%（全国77.4%）、国語Bの平均正答率は71.9%（全国72.2%）であり、国語A、Bともにおおむね全国平均である。

■ 国語A(主として「知識」に関する問題)

	生徒数	学校数	平均正答率(%)
福島県	16,157	221	77.6
全 国	982,511	9,539	77.4

■ 国語B(主として「活用」に関する問題)

	生徒数	学校数	平均正答率(%)
福島県	16,151	221	71.9
全 国	982,619	9,539	72.2

中学校 数学

○ 数学Aの平均正答率は 62.8 % (全国 64.6 %)、数学Bの平均正答率は 46.8 % (全国 48.1 %) であり、数学A、Bともに全国平均をやや下回っている。

■ 数学A(主として「知識」に関する問題)

	生徒数	学校数	平均正答率(%)
福島県	16,147	221	62.8
全 国	982,811	9,538	64.6

■ 数学B(主として「活用」に関する問題)

	生徒数	学校数	平均正答率(%)
福島県	16,147	221	46.8
全 国	982,786	9,538	48.1

児童生徒質問紙調査の結果

全国と比べると、福島県の児童生徒には次のような特長が見られる。

- 将来の夢や目標を持っている割合が増えている。
- 学校の授業時間以外に、1日1時間以上勉強している割合が高い。
- 家で、授業の復習をしている割合が高い。

※ 「肯定的な回答」とは、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」など肯定的な選択肢を選択した回答です。

〈質問番号〉(小:10、中:10)

「将来の夢や目標を持っている」について

- 肯定的な回答の割合は、小学生は 86.1 %、中学生は 73.0 %であり、どちらも全国の割合 (小:85.9 %、中:70.5 %) より高い。
- 28年度調査と比較すると、小学生で 1.2 ポイント、中学生で 0.6 ポイント高くなっている。
- 将来の夢や目標は、学びに向かう力の基盤となるものであり、今後もキャリア教育を充実させていく必要がある。また、家庭においても将来の夢や目標について話し合う機会を設けることが望まれる。

〈質問番号〉(小:15、中:15)

「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)」について

- 学校の授業時間以外の1日当たりの学習時間については、月～金曜日に1時間以上学習している小学生の割合は 74.5 %、中学生の割合は 73.7 %であり、どちらも全国の割合 (小:64.4 %、中:69.6 %) より高い。
- 月～金曜日の学習時間が30分より少ない、または全くしない小学生の割合は 5.6 %、中学生の割合は 8.1 %であり、どちらも全国の割合 (小:11.3 %、中:13.2 %) より低い。
- 月～金曜日に1時間以上学習している割合を28年度調査と比較すると、小学生で1.1ポイント、中学生で1.6ポイント高くなっている。
- 学習習慣が確立されていることは大変喜ばしいことであり、福島県の強みと言える。今後は、自分で計画を立て、実行し、評価・改善していく自己マネジメント力の育成も視野に入れて指導していくことが求められる。

〈質問番号〉(小:32、中:34)

「家で、学校の授業の復習をしている」について

- 肯定的な回答の割合は、小学生は 71.3 %、中学生は 64.5 %であり、どちらも全国の割合 (小:53.8 %、中:50.5 %) より高い。
- 28年度調査と比較すると、小学生に変化はなく、中学生は 1.5 ポイント高くなっている。
- 復習する習慣が身に付いている。今後は、授業と家庭学習をより一層連動させたり、記事の要約、レポート作成、調べ学習を意図的に計画したりするなど、学習内容の充実を図っていくことが望まれる。

生活圏平均正答率の状況

- 県内の生活圏別（県北、県中、県南、会津、南会津、相双・いわきの6地域）平均正答率は、校種・教科・問題種類ごとにばらつきが見られる。
- それぞれの地域の成果と課題を詳細に分析するとともに、地域の児童生徒の実態に応じた授業改善等の具体的な取組を更に強化していく必要がある。

